

## 第55回 白檀中学校『卒業証書授与式』を終えて

春の訪れを告げる東大寺二月堂のお水取りも終わり、頬に吹く風も次第に暖かさを増し、桜も少しずつ咲き始めました。そんな中、去る3月14日、「第55回卒業証書授与式」を挙行了しました。40名の生徒が、卒業証書を手白檀中学校を巣立っていきました。3年生は、小学校高学年からコロナ禍を経験し、さまざまな変化の中で過ごしてきた学年です。そのたくましく成長した姿を見て、私たちは感無量の思いで式を迎えました。

在校生は当日の式に参加できませんでしたが、前日の予行練習では参加しました。当日は、在校生代表として2年生の菊池拳くんが、心温まる「送辞」を読み上げてくれました。また、3年生の寺井大和くんが代表で「答辞」を読み上げ、その中で、在校生に向けて次のようなメッセージを送ってくれました。

「入学当初は、小学校からの友人や新しく出会った仲間、先輩方、先生方もうまくやっていたか不安でした。しかし、3年間でさまざまな経験をし、支え合い、励まし合うことで、私たちは大きく成長することができました。これから白檀中学校を背負っていく後輩のみなさん、悔いのないように中学校生活を送り、白檀中学校の伝統を大切に、より良い学校にしていってください。」(要約・抜粋)

さらに、式歌『旅立ちの日に』とは別に、3年生全員が答辞の合間に『正解』という歌を合唱しました。この歌で、会場全体が感動の渦に包まれたように感じました。多感な思春期に感じるさまざまな想いをシャープな感性で歌い上げた『正解』は、卒業生の心にも、私たちの心にも、いつまでも色褪せることなく残ることと思います。

さて、1年生、2年生の皆さんも、現在の学年を終え、いよいよ進級の時を迎えます。来年度は新たな「自分探しの旅」が始まります。新しい仲間とともに、明るく、積極的に、肯定的な自分づくりを目指してください。そして、共に幸せや喜びを共有でき、笑顔で安心して過ごせる仲間づくりを目指しましょう。皆さんのこれからの活躍を心から応援しています。

最後に、保護者の皆さまへ、この1年間、本校の教育活動に対し、格別のご理解とご支援、ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。来年度も、私たち教職員一同、誠心誠意、教育活動に邁進する所存です。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。



卒業証書授与の様子



卒業生 合唱『正解』

## 『正解』 Radwimps

この先に出会うどんな友とも 分かち合えない秘密を共にした  
それなのにたったひと言の「ごめんね」だけ やけに遠くて言えなかったり  
明日も会うのになぜか僕らは 眠い眼こすり 夜通しバカ話  
明るく日 案の定 机並べて居眠りして 怒られてるのに笑えてきて  
理屈に合わないことを どれだけやれるかが青春だとしても  
どこかで僕ら思っていたのかな

ああ 答えがある問いばかりを 教わってきたよ そのせいだろうか  
僕たちが知りたかったのは いつも正解などまだ銀河にもない  
一番大切な君と 仲直りの仕方  
大好きなあの子の 心の振り向かせ方  
なに一つ見えない 僕らの未来だから  
答えがすでにある 問いなんかには用などはない

これまで出逢ったどんな友とも 違う君に見つけてもらった  
自分をはじめて好きになれたの  
分かるはずない 君に分かるはずもないでしょう  
並んで歩けど どこかで追いつけていた 君の背中  
明日からは もうそこにはない

ああ 答えがある問いばかりを 教わってきたよ そのせいだろうか  
僕たちが知りたかったのは いつも正解など大人も知らない  
喜びが溢れて止まらない 夜の眠り方  
悔しさで滲んだ 心の傷の治し方  
傷ついた友の 励まし方  
あなたとはじめて怒鳴り合った日 あとで聞いたよ 君は笑っていたと  
想いの伝え方がわからない 僕の心 君は無理矢理こじ開けたの

ああ 答えがある問いばかりを 教わってきたよ だけど明日からは  
僕だけの正解をいざ 探しにゆくんだ また逢う日まで  
次の空欄に当てはまる言葉を  
書き入れなさい ここでの最後の問い  
「君のいない 明日からの日々を 僕は私は きっと (きっと)」  
制限時間は あなたのこれからの人生  
解答用紙は あなたのこれからの人生  
答え合わせの 時に私はもういない  
だから 採点基準は あなたのこれからの人生  
「よーい、はじめ」